

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 大蔵 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思えます。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<p>○ 体育科の学習で、「めあて」「まとめ」等がきちんと位置づけられており、体育科学習のねらいにそった学習活動が展開された。また、十分に運動量が確保された授業がなされている。</p> <p>○ 「家庭での運動の推奨」に関しては全国平均は上回っているが、今後学校の取組だけでなく家庭と連携を図って体力の向上に向けた取組を考える必要がある。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ・学年の実態に応じた課題を踏まえ、北九州市体力向上プログラムを参考に準備運動を実施した。 ・授業において、まとめ、ふりかえりを確実にし、運動量を十分に確保できるようにした。 ・新体力テストを適切に全学年、全種目を実施するために、校内研修を位置づけた。児童の体力等の伸びが実感出来るように複数回実施をした。
--

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<ul style="list-style-type: none"> ・大蔵アイソメトリック運動を朝の活動に位置づけ、児童の基礎体力の向上に向け、継続的な取組を行った。 ・委員会活動の取組で縄跳び大会を設定し、体育科の学習の時間、休み時間等を用いて基礎体力の向上を図った。 ・縦割り活動を月1~2回設定し、外遊びの日を設定して、運動量を確保するための働きかけを行った。
